

平成4年1月15日

オーケストラによる『成人の日・音楽祝典』

音 楽 成 人 式

約2200名の新成人を迎え、池袋・東京芸術劇場大ホールで華やかに開催

15日、豊島区では、外国人266名を含む4942人の若者が晴れて成人の日を迎えた。その門出を芸術性の高い、また堂々とした成人式でお祝いしようと開催されたオーケストラによる音楽成人式。日本で初めての試みとして、豊島区・豊島区教育委員会及び豊島区選挙管理委員会の主催で一昨年から開かれており今年で3回目。一昨年の会場は、それまでの一般的な成人式と同じく豊島公会堂であったが、昨年からは日本でもトップクラスのコンサートホールとして平成2年秋に開館した東京芸術劇場(西池袋1-8)に会場を移し、その音楽性・芸術性も一段と高まっている。演奏は、都内有数のアマチュア・オーケストラとして豊島区が誇る総勢100名の豊島区管弦楽団。指揮は、劇団四季が『オペラ座の怪人』を日本初演したときの指揮者として名を馳せた家田厚志さん。司会進行は、テレビなどで司会・レポーターとして活躍中の石森かずえさんが担当。

午前11時30分に、ワーグナー作曲・楽劇『ニュルンベルグのマイスタジンガー』の演奏で開会。宮崎尚志作曲『豊島区ファンファーレ(としま・街賛歌より)』にのって加藤一敏区長らがステージに登場。『君が代』斉唱の後、ヘンデル作曲『水上の音楽』を挟み、区長・区議会議長らの祝辞(約5分ずつ)へと続き、国会議員ら来賓紹介もシベリウス作曲『フィンランディア』、バッハ作曲『G線上のアリア』の演奏をバックに行われた。

新成人代表・鈴木幸子さんと山口竜介さんによる爽やかな「誓いの言葉」の後は、ウィーン・フィルハーモニーの新年コンサートで必ず演奏されるのが恒例になっているというヨハン・シュトラウス作曲『ラデッキー・マーチ』。この曲の演奏には指揮者に合わせて新成人も手拍子で参加、式典が最も盛り上がる場面であった。以後15分間の休憩。

休憩後午後0時50分からは、歌手・白鳥英美子さん(元・トワ・エ・モア)を迎えての記念コンサート。家田さんの指揮、管弦楽団の伴奏で、『QUIET WAYS』『空よ』『美しき青きドナウ』を、また、大ヒット曲『AMAZING GRACE』をアカペラで歌い上げ、会場を訪れた約2200名(外国人45名含む)の新成人の門出を祝った。午後1時30分終了。

問合せ 社会教育課成人式事務局